

学会報告

2024年2月11日、日本心臓リハビリテーション学会 近畿地方会 シンポジウムにおいて、当院の慢性心不全看護認定看護師 真崎看護師が、心理的フレイル・社会的ストレスを有している患者さんに対する心臓リハビリテーションに我々の取り組みを発表いたしました。



日本心臓リハビリテーション学会

第9回 近畿支部地方会

つながる、
そして その先へ



会期 2024年 2月 11日 (日祝)

会長 谷口 良司 (兵庫県立尼崎総合医療センター)

会場 ホテルマイステイズ 新大阪 コンファレンスセンター

シンポジウム3：心臓リハビリテーションによるフレイル・サルコペニアへのアプローチ

14:20-15:20

第2会場 サファイア

座長：兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部
公益財団法人 天理よろづ相談所病院 循環器内科

笹沼 直樹
近藤 博和

S3-3 精神・心理的、社会的フレイル患者に対する心臓リハビリテーションの参加意欲を高める
関わり

医療法人財団 神戸海星病院 神戸海星訪問看護ステーション

真崎 祥子

当院では昨年からは、心臓病の患者さんの生活の質を高めるために、心臓リハビリテーションを本格的に開始しています。その取り組みの中で、心臓リハビリテーションの参加意欲が低下している患者さんに対して、ご自身の好きな音楽を流すことにより、今まで生き、乗り越えてきた過程から得た力を引き出すアプローチ方法が重要であること見出しました。

超高齢化社会の中、心疾患の患者さんは増加しています。我々は、多職種によるチームワークで、この心不全パンデミックに取り組んでいきたいと考えています。

神戸海星病院 理事長 井上信孝

